

第3回アンケート調査「豊かな地域を考える」

地域のコミュニティ活動の輪がひろがり、情報通信基盤の発達により人々のコミュニケーションはひろがる一方、地域社会を取り巻く自然、社会、経済環境は大きな変化の中にあります。

兵庫県では、人口減少・超高齢社会の到来を控え、新たな時代潮流の調査研究を行い、持続可能な地域構造や生活の豊かさ、世界の中での兵庫などのテーマのもとに、顕著になる事実や課題等を明らかにする取り組みを進めています。

今回、持続可能な地域構造や生活の豊かさを考える上での参考にするため、「地域の豊かさ」について、県民モニターの皆さんのご意見をいただくこといたしました。

アンケートは以下の9つのカテゴリーに分かれています。各カテゴリー画面の末尾に「次へ」ボタンと「クリア」ボタンを設けていますので、次のカテゴリーごとに切り替えてご覧ください。

1: 第3回アンケート調査「豊かな地域を考える」(当画面)

2: (1) 豊かさに対する意識 Q1

3: (1) 豊かさに対する意識 Q2

4: (1) 豊かさに対する意識 Q3

5: (2) 居住地域に対する意識 Q4、Q5、Q5-2、Q5-3

6: (3) 地域社会の課題 Q6、Q7

7: (4) 豊かさのために大切と思うこと Q8、Q9

8: 登録ID及びパスワード入力画面

9: 記載内容確認画面

上記9の「記載内容確認画面」で記載済みの内容をご確認の上、末尾の「送信」ボタンを押していただければアンケートが完了します。

(利用上の注意)

・アンケートフォームの開設期間中は、何度でも回答をやり直すことができます。

・回答をやり直す際に送信済みの回答結果は再表示されません。全項目に改めて回答いただく必要があります。

・開設期間中、最後に送信した回答のみが県に登録されます。

・設問の中で別ウインドウ表示される「参考資料」の最下部に、「より良いウェブサイトにするため」のアンケートが表示されますが、このアンケートは、システム上自動的に表示されるもので本県民モニターアンケートとは無関係ですので、特にお答えいただく必要はありません。

入力を開始する

[このページのトップへ](#)

(1)豊かさに対する意識

Q1

あなたが暮らしている地域社会は「豊か」だと思いますか。次の中から1つだけ選んで下さい。

- 十分に豊かである
- それなりに豊かである
- あまり豊かではない
- 全く豊かではない
- わからない
- その他(下欄にお書き下さい)

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

(1)豊かさに対する意識

Q2

あなたにとって「豊かな暮らし」とはどのような暮らしだと思いますか。次のアからシの中から重要と思うもの上位3つを選んで、各順位欄にアからシのいずれか1つを選んで下さい。

- ア 収入が確保され、経済的に安定した暮らし
- イ 新しいもの、便利なものが身の回りに満ちている暮らし
- ウ 交通が便利でどこにでも移動しやすい暮らし
- エ やりがいがあり、充実した仕事ができる暮らし
- オ 自然環境に恵まれた暮らし
- カ 身近で芸術文化を楽しめる暮らし
- キ 防災や防犯の行き届いた安全な暮らし
- ク 福祉や医療が充実した安心な暮らし
- ケ 近所の人などとの助け合いがあり、いろいろな人との交流が盛んな暮らし
- コ 家族と一緒に支え合っている暮らし
- サ わからない
- シ その他

第1位

ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ

第2位

ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ

第3位

ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ

「シ その他」を選んだ方は、下欄に具体的にお書き下さい。

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

(1)豊かさに対する意識

Q3

あなたは今、「豊か」に暮らしていますか。次の中から1つだけ選んで下さい。

- 十分豊かなに暮らしている
- それなりに豊かに暮らしている
- あまり豊かではない暮らしをしている
- まったく豊かではない暮らしをしている
- その他(下欄にお書き下さい)

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

(2)居住地域に対する意識

Q4

あなたが今、お住まいのところに住んでいる理由は何ですか。次の中から重要と思うものを3つまで選んで下さい。

- 希望する仕事ができるから
- 仕事場に近く、通勤に便利だから
- 電車、バスなど公共交通機関が便利で出かけやすいから
- 緑が多く自然環境に恵まれているから
- 劇場、美術館、図書館等文化施設が利用しやすいから
- 買い物、通院など日常生活をおくる上で便利だから
- 学校など教育環境が整っているから
- 保育所など子育て環境が整っているから
- 自分が育ったところで、知り合いや友人が周囲に住んでいるから
- 親や祖父母、孫など家族と一緒に暮らせるから
- その他(下欄にお書き下さい)

Q5

あなたは、今住んでいるところに住み続けたいと思いますか。次の中から最もあてはまるものを1つだけ選んで下さい。

- 住み続けたい【Q5-2へ】
- 他の地域に移りたい【Q5-3へ】
- わからない
- その他(下欄にお書き下さい)

Q5-2

(問5で「住み続けたい」と答えた方にお伺いします。)自分の子どもに、今住んでいる住宅を引き継いで住み続けてほしいと思いますか。次の中から1つだけ選んで下さい。

- できれば、子どもは結婚しても、この家に同居してほしい
- 成人すれば家を出て独立すると思うので、住宅を引き継ぐことは考えていない
- 自分が元気なときは離れていてもよいが、いずれは帰ってきてほしい
- 同居する必要はないが、近所に住んでほしい
- わからない
- その他(下欄にお書き下さい)

Q5-3

(問5で「他の地域に移りたい」と答えた方にお伺いします。)今住んでいるところから移り住むとすればどのようなところに住みたいですか。次の中から最も重視したい項目を1つだけ選んで下さい。

- 希望する仕事ができるところ
- 仕事場に近く、通勤に便利なところ
- 電車、バスなど公共交通機関が便利で出かけやすいところ
- 緑が多く自然環境に恵まれているところ
- 劇場、美術館、図書館等文化施設が利用しやすいところ
- 買い物、通院など日常生活をおくる上で便利なところ
- 学校など教育環境が整っているところ
- 保育所など子育て環境が整っているところ
- 自分が育ち、知り合いや友人が周囲に住んでいるところ
- 親や祖父母、孫など家族と一緒に暮らせるところ
- その他(下欄にお書き下さい)

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

| [リンク集](#) | [県ホームページについて](#) | 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 電話078-341-7711(代表) 地図は[こちらへ](#)

(3)地域社会の課題

Q6

少子高齢化が進み、一人暮らし世帯が増える中で、都市の中でも、近所の人とのかかわりやつながりが希薄になった地域が発生しつつあります。まちの中にこうした地域が生まれてくるとどのようなことが問題になると思いますか。次の中から最も問題だと思う項目を1つ選んで下さい。(参考資料1:平成19年版 国民生活白書 -つながりが築く豊かな国民生活-から抜粋<別ウインドウで開きます>)

- コミュニティや自治会が成立しなくなる
- 人通りが減り、人の目の届かない空間が広がって、治安に問題が起こる
- 社会的弱者に目が届きにくくなり、孤独死や虐待などが増える
- 地域全体の活気がなくなる
- 特に問題があるとは思わない
- 考えたことがなく、わからない
- その他(下欄にお書き下さい)

Q7

自然の豊かな地域には、交通や生活利便施設等の基礎的条件が厳しくなり、存続が危ぶまれる集落があります。これから、こうした集落に人がいなくなっていくことでどのようなことが問題になると思いますか。最も問題だと思う項目を1つ選んで下さい。(参考資料2:国土交通省 集落の状況に関する現況把握調査最終報告(平成19年8月)から抜粋)<別ウインドウで開きます>)

- 空き家が増えて、治安に問題が起こる
- 田畑の管理が行き届かなくなり荒れてしまう
- 山や森の管理が行き届かなくなり災害が起こりやすくなる
- 地域で継承されてきた生活様式や景観、芸能などの文化がなくなってしまう
- 心の「ふるさと」がなくなってしまう
- 特に問題があるとは思わない
- 考えたことがなく、わからない
- その他(下欄にお書き下さい)

[次へ](#)

[クリア](#)

[このページのトップへ](#)

(4)豊かさのために大切に思うこと

Q8

あなたの暮らしを「豊か」にするために、どのようなことが最も大切だと思いますか。次の中から最も当てはまると思う項目を1つ選んで下さい。

- 安定した収入を得ること
- やりがいがある、社会のためにも役立つ仕事や活動をする
- 水や電気を大切に使い、リサイクルを進めるなど環境に負荷をかけずに暮らすこと
- 豊かな自然環境を積極的に守っていくこと
- 地域コミュニティでの活動が盛んになり、地域で助け合うこと
- 家族がともに暮らし、助け合うこと
- わからない
- その他(下欄にお書き下さい)

Q9

その他、地域の豊かさについて思うことをご自由にお書き下さい。

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

広報広聴

広聴活動

更新日:2007年12月14日

参考資料1:地域のつながり

地域のつながりの変化

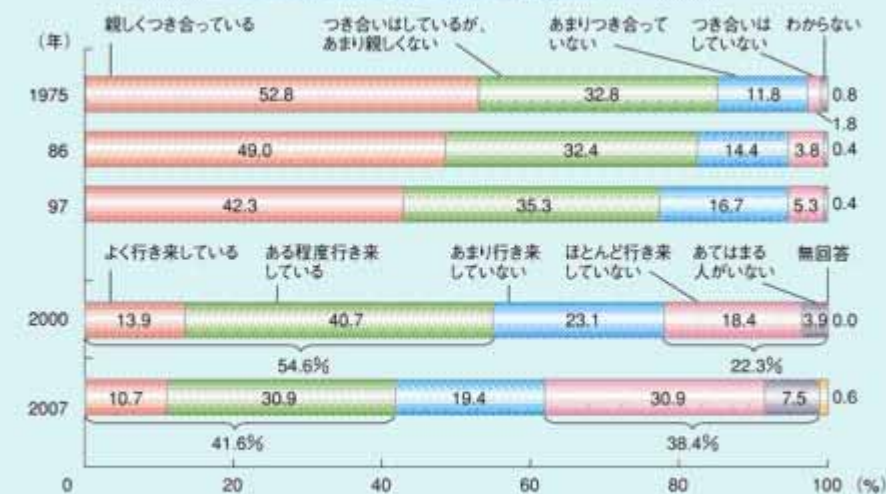
地域のつながりは希薄化している。

- ・近隣関係は希薄化し続けている。
- ・地域のつながりが10年前に比べて弱くなっていると考える人が約3割いる。

第2-1-19図

近隣関係は希薄になっている

近所付き合いの程度の推移



(備考) 1. 内閣府「社会意識に関する世論調査」(1975、86、97年)により作成および「国民生活選好度調査」(2000、2007年)により特別集計。
2. 回答者は、1975、86、97年は全国の20歳以上の者。2000年は、全国の20歳以上70歳未満の男女。2007年は、全国の20歳以上80歳未満の男女。

第2-1-25図

地域のつながりは10年前に比べて弱くなっていると考える人が約3割

10年前と比較した地域のつながりの強さ



(備考) 1. 内閣府「国民生活選好度調査」(2007年)により作成。
2. 回答者は、全国の15歳以上60歳未満の男女3,383人。

「平成19年版 国民生活白書 - つながりが築く豊かな国民生活 - 第2章 地域のつながり」から抜粋

*当該資料の詳細をお知りになりたい方は、今回の調査実施をお知らせしたメールの末尾に、資料が掲載されているホームページのURLを記載しておりますので、そちらをご覧ください。

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

質問:このページの情報は役に立ちましたか?

1:役に立った 2:ふつう 3:役に立たなかった

質問:このページの情報は見つけやすかったですか?

1:見つけやすかった 2:ふつう 3:見つけにくかった

送信

このページの掲載内容に関するお問い合わせ

- 部署名:県民政策部知事室広聴課
- 電話:078-362-3021
- FAX:078-362-4291
- Eメール:kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)

広報広聴

広聴活動

更新日: 2007年12月14日

参考資料2: 集落の状況

国土交通省が実施した「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査」より、全国の中山間地域の集落機能の維持状況の厳しさを示すデータを抜粋しました。

(調査対象) 過疎地域自立促進特別措置法の対象となる過疎地域市町村

1 集落機能の維持状況

中部・四国での集落機能の低下傾向が見られる。また、小規模集落や条件の厳しい集落で集落機能の維持状況の低下が顕著に見られる。

(注) 集落機能

- ・資源管理機能: 水田や山林などの地域資源の維持保全に係る集落機能
- ・生産補完機能: 農林水産業等の生産に際しての草刈、道普請などの相互扶助機能
- ・生活扶助機能: 冠婚葬祭など日常生活における相互扶助機能

(1) 集落の各種機能の維持状況別集落数

全体	集落機能の維持の状況別集落				
	良好	機能低下	機能維持困難	不明	計
北海道	3,498 (87.5%)	319 (8.0%)	161 (4.0%)	20 (0.5%)	3,998 (100.0%)
東北圏	11,771 (92.5%)	700 (5.5%)	250 (2.0%)	6 (0.0%)	12,727 (100.0%)
首都圏	2,095 (83.4%)	193 (7.7%)	223 (8.9%)	0 (0.0%)	2,511 (100.0%)
北陸圏	1,459 (87.2%)	136 (8.1%)	78 (4.7%)	0 (0.0%)	1,673 (100.0%)
中部圏	2,983 (76.4%)	667 (17.1%)	253 (6.5%)	0 (0.0%)	3,903 (100.0%)
近畿圏	2,314 (84.2%)	197 (7.2%)	238 (8.7%)	0 (0.0%)	2,749 (100.0%)
中国圏	10,060 (80.2%)	1,759 (14.0%)	696 (5.5%)	36 (0.3%)	12,551 (100.0%)
四国圏	5,033 (76.3%)	951 (14.4%)	596 (9.0%)	15 (0.2%)	6,595 (100.0%)
九州圏	13,815 (90.4%)	988 (6.5%)	418 (2.7%)	56 (0.4%)	15,277 (100.0%)
沖縄圏	253 (87.5%)	32 (11.1%)	4 (1.4%)	0 (0.0%)	289 (100.0%)
全国	53,281 (85.6%)	5,942 (9.5%)	2,917 (4.7%)	133 (0.2%)	62,273 (100.0%)

赤字・・・各集落機能の維持状況において該当集落数の割合が最も大きい圏域

青字・・・各集落機能の維持状況において該当集落数の割合が2番目に大きい圏域

(2) 集落類型別集落機能の維持状況

	集落機能の維持の状況別 集落数				
	良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
~ 9	2,970	1,516	1,523	9	6,018

世帯規模		(49.4%)	(25.2%)	(25.3%)	(0.1%)	(100.0%)
	10～19	9,128 (77.6%)	1,928 (16.4%)	685 (5.8%)	19 (0.2%)	11,760 (100.0%)
	20～	40,693 (92.7%)	2,437 (5.5%)	685 (1.6%)	95 (0.2%)	43,910 (100.0%)
高齢者割合	50%以上	4,601 (58.4%)	1,742 (22.1%)	1,514 (19.2%)	21 (0.3%)	7,878 (100.0%)
	50%未満	46,859 (89.9%)	3,917 (7.5%)	1,229 (2.4%)	99 (0.2%)	52,104 (100.0%)
本庁までの距離	20キロ以上	10,239 (76.0%)	2,004 (14.9%)	1,225 (9.1%)	7 (0.1%)	13,475 (100.0%)
	20キロ未満	42,791 (88.3%)	3,878 (8.0%)	1,663 (3.4%)	122 (0.3%)	48,454 (100.0%)
地域区分	山間地	14,414 (71.4%)	3,587 (17.8%)	2,160 (10.7%)	20 (0.1%)	20,181 (100.0%)
	中間地	15,888 (88.6%)	1,495 (8.3%)	524 (2.9%)	34 (0.2%)	17,941 (100.0%)
	平地	17,892 (94.9%)	755 (4.0%)	176 (0.9%)	35 (0.2%)	18,858 (100.0%)
	都市的地域	4,839 (98.0%)	74 (1.5%)	23 (0.5%)	2 (0.0%)	4,938 (100.0%)
地形	地形的 末端である	2,348 (59.6%)	770 (19.5%)	814 (20.7%)	9 (0.2%)	3,941 (100.0%)
	地形的 末端でない	50,933 (87.3%)	5,172 (8.9%)	2,103 (3.6%)	124 (0.2%)	58,332 (100.0%)
全体		53,281 (85.6%)	5,942 (9.5%)	2,917 (4.7%)	133 (0.2%)	62,273 (100.0%)

赤字・・・各集落機能の維持状況において、該当集落の割合が最も大きい分類

2 消滅の可能性のある集落の現状

今後消滅の可能性のある集落は中部・近畿・中国・四国をはじめとして各圏域に存在。消滅の可能性のある集落は、集落規模が小さく高齢化が進み、山間地に多く存在している。

(1)今後の消滅の可能性別集落数

全体	今後の消滅の可能性別集落数				
	10年以内に消滅	いずれ消滅	存続	不明	計
北海道	23 (0.6%)	187 (4.7%)	3,365 (84.2%)	423 (10.6%)	3,998 (100.0%)
東北圏	65 (0.5%)	340 (2.7%)	11,218 (88.1%)	1,104 (8.7%)	12,727 (100.0%)
首都圏	13 (0.5%)	123 (4.9%)	1,938 (77.2%)	437 (17.4%)	2,511 (100.0%)
北陸圏	21 (1.3%)	52 (3.1%)	997 (59.6%)	603 (36.0%)	1,673 (100.0%)
中部圏	59 (1.5%)	213 (5.5%)	2,715 (69.6%)	916 (23.5%)	3,903 (100.0%)
近畿圏	26 (0.9%)	155 (5.6%)	2,355 (85.7%)	213 (7.7%)	2,749 (100.0%)
中国圏	73 (0.6%)	425 (3.4%)	10,548 (84.0%)	1,505 (12.0%)	12,551 (100.0%)
	90	404	5,447	654	6,595

四国圏	(1.4%)	(6.1%)	(82.6%)	(9.9%)	(100.0%)
九州圏	53 (0.3%)	319 (2.1%)	13,634 (89.2%)	1,271 (8.3)	15,277 (100.0%)
沖縄圏	0 (0.0%)	2 (0.7%)	167 (57.8%)	120 (41.5%)	289 (100.0%)
全国	423 (0.7%)	2,220 (3.6%)	52,384 (84.1%)	7,246 (11.6%)	62,273 (100.0%)

赤字…各消滅の可能性において該当集落数・割合が最も大きい圏域

青地…各消滅の可能性において該当集落数・割合が2番目に大きい圏域

(2)今後の消滅可能性別にみた集落特性

		今後の消滅の可能性				
		10年以内に消滅の可能性あり	いずれ消滅の可能性あり	存続	無回答	計
世帯規模	～9	374(88.4%)	1,370(61.7%)	3,695(7.1%)	579(8.0%)	6,018(9.7%)
	10～19	40(9.5%)	512(23.1%)	9,682(18.5%)	1,526(21.1%)	11,760(18.9%)
	20～29	4(0.9%)	141(6.4%)	8,173(15.6%)	1,153(15.9%)	9,471(15.2%)
	30～49	1(0.2%)	92(4.1%)	10,662(20.4%)	1,422(19.6%)	12,177(19.6%)
	50～99	0(0.0%)	61(2.7%)	10,636(20.3%)	1,455(20.1%)	12,152(19.5%)
	100～199	0(0.0%)	22(1.0%)	5,674(10.8%)	699(9.2%)	6,365(10.2%)
	200～499	0(0.0%)	3(0.1%)	2,743(5.2%)	307(4.2%)	3,053(4.9%)
	500～	0(0.0%)	0(0.0%)	630(1.2%)	62(0.9%)	692(1.1%)
地域区分	山間地	352(83.2%)	1,736(78.2%)	15,745(30.1%)	2,348(32.4%)	20,181(32.4%)
	中間地	54(12.8%)	361(16.3%)	15,354(29.3%)	2,172(30.0%)	17,941(28.8%)
	平地	14(3.3%)	98(4.4%)	16,586(31.7%)	2,160(29.8%)	18,858(30.3%)
	都市的地域	2(0.5%)	19(0.9%)	4,394(8.4%)	523(7.2%)	4,938(7.9%)
65%以上割合	100%	120(28.4%)	153(6.9%)	136(0.3%)	22(0.3%)	431(0.7%)
	75%以上100%未満	72(17.0%)	334(15.0%)	499(1.0%)	67(0.9%)	972(1.6%)
	50%以上75%未満	114(27.%)	798(35.9%)	4,818(9.2%)	745(10.3%)	6,475(10.4%)
	25%以上50%未満	51(12.1%)	654(29.5%)	36,852(70.3%)	4,547(62.8%)	42,104(67.6%)
	25%未満	38(9.0%)	152(6.8%)	8,828(16.9%)	982(13.6%)	10,000(16.1%)
地形	地形的 末端である	175(41.4%)	712(32.1%)	2,694(5.1%)	360(5.0%)	3,941(6.3%)
	地形的 末端でない	248(58.6%)	1,508(67.9%)	49,690(94.9%)	6,886(95.0%)	58,332(93.7%)
全体(割合の基数)		423(100.0%)	2,220(100.0%)	52,384(100.0%)	7,246(100.0%)	62,273(100.0%)

赤字: 存続するとみられる集落と比較して、消滅の可能性のある集落に特に顕著な特性

*当該資料の詳細をお知りになりたい方は、今回の調査実施をお知らせしたメールの末尾に、資料が掲載されているホームページのURLを記載しておりますので、そちらをご覧ください。

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

質問:このページの情報は役に立ちましたか?

1:役に立った 2:ふつう 3:役に立たなかった

質問:このページの情報は見つけやすかったですか?

1:見つけやすかった 2:ふつう 3:見つけにくかった

送信

このページの掲載内容に関するお問い合わせ

- 部署名: 県民政策部知事室広聴課
- 電話: 078-362-3021
- FAX: 078-362-4291
- Eメール: kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)

| [リンク集](#) | [県ホームページについて](#) | 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 電話078-341-7711(代表) 地図は[こちらへ](#)
